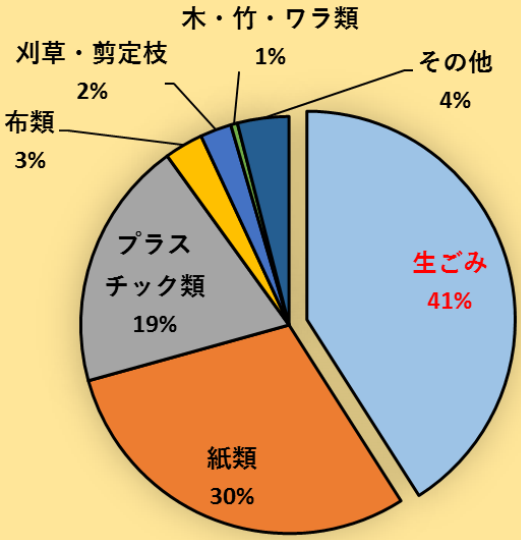
豊川市産業環境部清掃事業課
第２６号　令和２年３月

豊川ごみ減量かわら版

生ごみの減量にご協力ください

豊川市で家庭から出される可燃ごみのうち、４１％は生ごみが占めています。
生ごみには水分が多く含まれているため燃えにくく、焼却するのに燃料や時間が多くかかります。生ごみの減量化は、可燃ごみの減量だけでなく、燃料費の削減、焼却時間の短縮による二酸化炭素発生の抑制、焼却炉の負荷軽減にも繋がります。
生ごみの減量化へ向け、皆さんのご協力をお願いします。



豊川市の家庭系可燃ごみ内訳

◇生ごみ減量のためにできること

・しっかりと水を切りましょう

生ごみの約８０％は水分です。捨てる前に“ギュッと”絞ったり、天日に干して水分量を減らしましょう。

・食品ロスを減らしましょう

食品ロスとは、賞味期限切れの未利用食材や、食べ残しなど、まだ食べられるのに廃棄される食品のことで、家庭から出る生ごみのうち、約３５％が食品ロスと推計されています。（環境省推計）
家庭の食品ロスの要因は大きく３つに分類されます。意識して食品ロスを減らしましょう。

◎**食べ残し**－食べ切れずに残った食品です。料理は食べ切れる量だけを作り、外食の際は小盛りを注文するなど、食べ切るようにしましょう。
◎**直接廃棄**－賞味期限切れ等で使われず、手つかずのまま廃棄された食品です。必要以上に購入しないこと、余った食品は小分けにして冷凍保存し、早めに食べ切ることを心がけましょう
◎**過剰除去**－厚くむき過ぎた野菜の皮など不可食部を除去する際に過剰に除去された可食部。食材を無駄にしない切り方をしたり、残った切れ端でもう一品作るなど調理を工夫しましょう。

家庭系ごみ収集量速報値

ごみの減量で経費節減にご協力を！

家庭ごみのうち可燃ごみの月別収集量は次のとおりでした。

可燃ごみ	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月
令和元年度	3, 315t	3, 533t	2, 922t	3, 478t	3, 226t	3, 018t	3, 165t	2, 942t	3, 416t	2, 893t
平成 30 年度	3, 205t	3, 469t	3, 057t	3, 348t	3, 161t	2, 877t	3, 462t	3, 019t	3, 196t	2, 827t
前年度比	+110 t	+64 t	−135 t	+130 t	+65 t	+141 t	−297 t	−77 t	+220 t	+66 t

お問い合わせ　豊川市産業環境部清掃事業課　〒442-8601 豊川市諏訪１－１　電話 89-2166
HP　https://www.city.toyokawa.lg.jp/